



様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

大分
都道府県知事
(市長)

殿

令和5年8月23日

提出者 大分県豊後高田市小田原2559番地
住所 有限会社 高田牧場
氏名 代表取締役 仲井高志
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
電話番号 0978-22-8942



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 高田牧場 代表取締役 仲井高志	
事業場の所在地	大分県豊後高田市小田原2559番地	
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	01 農業	
②事業の規模	肉用牛 1170	
③従業員数	6人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	動物のふん尿 動物の死体 ① 自ら堆肥化 ② 処理業者へ委託 処理	

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表取締役

総括責任者



事務員

廃棄物担当者

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（ 4 年度）実績】

産業廃棄物の種類

動物のふん尿

動物の死体

排 出 量

7600 t

5 t

(これまでに実施した取組)

該当なし

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類

動物のふん尿

動物の死体

排 出 量

7600 t

5 t

(今後実施する予定の取組)

該当なし

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

該当なし

②計画

(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

該当なし

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6600 t	t
	(これまでに実施した取組)		
	堆肥化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	6600. t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	堆肥化		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	1000 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1000 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ <u>4</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし.		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし.		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ <u>4</u> 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物の死体	
	全処理委託量	5 t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
動物の死体は化製場に委託処理			
※事務処理欄			